

南ア月報  
(2020年5月)

【内政】

- ロックダウン警戒レベル4への移行
- 拘留中の犯罪者の仮釈放
- ラマポーザ大統領が、5月下旬からの一部地域を除く警戒レベル3への引き下げを発表
- ドラミニニズマ協調統治・伝統業務大臣によるロックダウン警戒レベル3の規制内容の発表

【外政】

- ラマポーザ大統領の非同盟諸国テレビ首脳会合出席
- ラマポーザ大統領のEU主催テレビ・プレッジ会合出席
- ラマポーザ大統領による近隣諸国の首脳とのテレビ会合
- ラマポーザ大統領とケニヤッタ・ケニア大統領との電話会談
- ラマポーザ大統領の第73回世界保健総会出席
- ラマポーザ大統領のAUハイレベル・リビア・コンタクトグループ・テレビ会合出席

【経済】

<経済指標>

- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 南ア航空(SAA)再建へ2つの選択肢
- 南ア準備銀行(中銀)が政策金利を3.75%へ引き下げ
- ラマポーザ大統領が国連ハイレベル会合に出席
- ロックダウン警戒レベル3引き下げに対する産業界規制緩和について

【警備】

- ロックダウン中の治安動向

## 1 内政

### ●ロックダウン警戒レベル4への移行

1日、南アはロックダウン警戒レベル4へと移行した。

### ●拘留中の犯罪者の仮釈放

8日、ラマポーザ大統領は、矯正施設におけるコロナウイルス感染対策として、矯正施設における過密状態を解消すべく、拘留中の犯罪者の仮釈放を発表した。発表によれば、全国の約19,000人の受刑者がこの決定の恩恵を受け、このプロセスにより矯正施設における過密状態が12.15%減少すると予想されている。

### ●ラマポーザ大統領が、5月下旬からの一部地域を除く警戒レベル3への引き下げを発表

13日、ラマポーザ大統領は演説を行い、5月下旬からの一部地域を除く警戒レベル3への引き下げを発表した。(注：その後、6月1日以降全ての地域の警戒レベル3への引き下げが発表された。)

演説においてラマポーザ大統領は、これまでの国民の犠牲と協力に感謝する。ロックダウンがなければ、コロナウイルス感染の数は抑えられずに急増し、我々の医療施設は圧倒され、さらに何千人もの南ア人が亡くなっていたであろう。我々の措置は、南ア及び世界中をリードする専門家からのアドバイスによって導かれている。また、WHOからの助言も受けている。ロックダウンや我々が取ったその他の対策がなければ、少なくとも80,000人の南アフリカ人が今までに感染した可能性がある。また、死者数はそれよりも少なくとも8倍高かった可能性がある旨述べた。

### ●ラマポーザ大統領が、6月1日以降の南ア国内の全ての地域の警戒レベル4から3への引き下げを発表

24日、ラマポーザ大統領は演説を行い、6月1日より、南ア国内の全ての地域を警戒レベル4から3に引き下げる旨を発表した。

演説においてラマポーザ大統領は、感染者の多い都市圏及び地域をコロナウイルスホットスポットとして設定し、厳格な感染拡大対策及び管理を行う、また、感染状況及び医療施設の状況により、国のどの地域でもレベル4または5に戻す可能性がある旨述べた。また、ラマポーザ大統領は、レベル3移行後は約800万人が仕事に戻るとし、感染リスクが高くなるため、より注意が必要であると指摘した。

### ●ドラミニ＝ズマ協調統治・伝統業務大臣によるロックダウン警戒レベル3の規制内容の発表

28日、ドラミニ＝ズマ協調統治・伝統業務大臣が会見を行い、6月1日以降予定される警戒レベル3移行後の規制について発表した。会見においてドラミニ＝ズマ大臣は、国境は、内務大臣が指定した①燃料貨物および貨物の輸送、②人道的活動、本国帰還、避難、医療緊急事態、外交官及び国際機関職員の移動及びその他の例外を除き、引き続き閉鎖され、仕事、新居への引っ越し、近親者の介護を目的とする移動を除き、州をまたいで移動、都市圏及び地区とホットスポット間の移動は禁止される旨述べた。

## 2 外政

### ●ラマポーザ大統領の非同盟諸国テレビ首脳会合出席

4日、ラマポーザ大統領は、非同盟諸国(NAM)議長国アゼルバイジャンのアリエフ大統領の求めに応じ、NAMテレビ首脳会議に出席した。ラマポーザ大統領は、COVID-19対策にお

ける連帯と協力を強化することを訴えた。首脳会談では、COVID-19 対策における国際社会の団結を呼びかけ、非同盟諸国の人道的及び医療上の必要性を考慮したデータベースを構築するための NAM タスクフォースを立ち上げることが合意された。

#### ● ラマポーザ大統領の EU 主催テレビ・プレッジ会合出席

4 日、ラマポーザ大統領は、EU 主催テレビ・プレッジ会合に出席した。ラマポーザ大統領は、貧困、不平等を抱える国々に対する国際的な支援への具体的なコミットメントを増加させることを呼びかけた。

#### ● ラマポーザ大統領による近隣諸国の首脳とのテレビ会合

5 日、ラマポーザ大統領は近隣諸国の首脳とテレビ会合を行った。テレビ会合には、レソト、エスワティニ、モザンビーク及びジンバブエの首脳が参加した。テレビ会合において、ラマポーザ大統領は、これまで AU 議長として行った活動に関し述べた。具体的には、二回の AU 首脳テレビ会合を召集し、基金の設立や国際社会に対し包括的で強固な経済支援パッケージを求めることに合意したことに関して述べた。また、AU のコロナ対策を支援するために、プレッジをフォローアップし、より多くの国際的な支援を取り付けるために 5 名の AU・COVID-19 対策特使を任命したことや、南部アフリカ地域及びアフリカ全体における防護用品の確保を支援するためにジンバブエのビジネスマン Strive Masiyiwa 氏を指名したことに関しても述べた。

#### ● ラマポーザ大統領とケニヤッタ・ケニア大統領との電話会談

10 日、ラマポーザ大統領は、ケニヤッタ・ケニア大統領と電話会談を行った。ケニヤッタ大統領は、南アの Covid-19 対策を評価した。

#### ● ラマポーザ大統領の第 73 回世界保健総会出席

18 日、ラマポーザ大統領は、テレビ会議形式で行われた第 73 回世界保健総会に出席した。現下のコロナウイルスが猛威を振るっている状況において、貧しい人たちがより苦しんでいて、豊かな国と貧しい国の不平等が際立っていると述べた。同大統領は、今般の危機に際し、WHO がアフリカ各国に指針を示したことを称賛した。同時に、同大統領は、アフリカがコロナウイルスに対し極めて脆弱であり、支援を必要としていると述べた。

#### ● ラマポーザ大統領の AU ハイレベル・リビア・コンタクトグループ・テレビ会合出席

19 日、ラマポーザ大統領は、AU ハイレベル・リビア・コンタクトグループ・テレビ会合に出席した。サス・ンゲソ・コンゴ (共) 大統領の招待によって行われた本国会合の目的は、安保理決議第 2510 号の履行を求める前回会合の決議及びベルリンで行われた和平国際会議の決議の履行状況を考察することにあった。

### 3 経済

#### <経済指標>

##### ● 為替レート

2020 年 5 月 31 日付 (南ア準備銀行)

6. 1113 ランド/円

17. 5479 ランド/米ドル

19. 4852 ランド/ユーロ

### ●製造業生産高

2020年2月の製造業は、前年同月比2.1%減。主なマイナス要因は、鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で4.8%減。紙、出版及び印刷で6.3%減。繊維及び被服関連で9.1%減。また過去3ヵ月（2019年12月～2020年2月）の季節調節後生産高は2019年9～11月の3ヵ月から2.2%減。製造業10部門中8部門で生産高減となった。（南ア統計局、5月19日）

### ●鉱業生産高

2020年2月の鉱業生産高は、前年同月比7.0%増。主なプラス要因は、石炭で13.7%増、白金で8.7%増、金で11.5%増。また過去3ヵ月（2019年12月～2020年2月）の季節調整後生産高は2019年9～11月の3ヵ月から2.7%減。（南ア統計局、5月19日）

### <出来事>

#### ●南ア航空（SAA）再建へ2つの選択肢

15日、ゴードン公共企業大臣は、過去3年間にわたり合計で157.4億ランドの損失を計上し、会社更生法の適用下にあるSAAに代わる「新たな航空会社」を設立するための2つの案を検討中であると発表。①SAA資産を引き継いだ新たな航空会社の設立、又は②機能不全の部署の閉鎖等同社再構築・再編成の2つである。ゴードン大臣は、会社更生プロセスのゴールは、「機能する航空会社の設立」であると言及。更生管財人は、再建コストを約77億ランドと推定。

#### ●南ア準備銀行（中銀）が政策金利を3.75%へ引き下げ

22日、中銀は政策金利を4.25%から3.75%へ引き下げた。この決定により、中銀は今年に入り既に3回の政策金利の引き下げを行い、2020年1月から既に2.75%の政策金利をカットしたことになる。

#### ●ラマポーザ大統領が国連ハイレベル会合に出席

28日、ラマポーザ大統領は、AU議長として、国連主催「ポスト・新型コロナウイルス時代を見据えた開発融資に関するハイレベル会合」に出席した。大統領は、スピーチにおいて①新型コロナウイルスは途上国のSDGs達成に向けた大きな脅威であること、②途上国が抱える負債に対する懸念、③G20及びブレトン・ウッズ協定機関と途上国の負債問題への取組むこと、④国連事務総長が要請する包括的債務管理レジーム及び全世界GDPの10%相当額のグローバル対応パッケージ（アフリカへ約2千億ドル支援）についての支持等について語った。

#### ●ロックダウン規制レベル3引き下げに対する産業界規制緩和について

28日、パテル貿易産業大臣は、規制レベル3引き下げに向けた産業界規制に関する発表を行なった。レベル3では、感染リスクが高く、ソーシャルディスタンスの確保が難しい業界を除くほとんどの業界で業務再開可能。これにより、約800万人の労働者が仕事に戻ることが可能になる。また、一部の業界では既に販売規制緩和案が発表されており、電子商取引では販売許可が下りていない商品を除く全ての取り扱いが可能。車両販売は3つのフェーズに別れており、フェーズ1（～5月24日）は、全従業員の30%の規模で稼働、フェーズ2（5月25日～6月7日）は60%の規模、フェーズ3（6月8日～）から100%の規模で稼働することができる。限られた顧客数での店頭販売も可能になるものの、引き続きオンラインでの取引が推奨されている。また店頭での試乗は全て予約制。それに付随する緊急車

両修理などの車両サポートサービスも段階的に再開される。

#### 4 警備

##### ●ロックダウン中の治安動向

22日、南ア国家警察は、ロックダウン中の重要凶悪犯罪の発生状況について発表を行った。5月19日までの時点で、重要凶悪犯罪は前年同時期と比較して減少しており、殺人が63.9%、凶悪強盗が63.6%減少した。凶悪強盗のうち、カージャックは70.7%、住居侵入強盗は49.1%減少となった。

ロックダウン規則違反については、酒・たばこに関する違反、集会に関する違反、州・都市間移動制限に関する違反、営業関係違反等で約230,000人が検挙されている。